

もいのにぎわい通信

2024年4月27日 定例活動報告

日時：2024年4月27日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：雨のち曇り 気温18～22℃ 湿度83% 風向 南 風速2.5m/s

参加者：13人：子ども2人、大人11人（内土地改良区0人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始

10:30 休憩

12:00 後片づけ・解散

■活動報告

朝から小雨となっておりましたが、雨雲レーダーによると9時には止むとのことでしたので、開催することにしました。しかし、集合の9時になっても小雨が続いていましたので、ビニールハウスで雨が止むのを待っていました。作業開始時期の9時30分を過ぎても雨が止む様子がなさそうなので、ワラビ採り終了後解散することにしました。

9時50分より傘をさして全員でワラビ採りを始めました。今年は3月に下刈りをしていたせいか日当たりがよくワラビが広範囲に出ていました。4日前に私と妻とでワラビ採りをした時はバケツ2杯分の収穫でした。ワラビ採りが初めてだと言う大学生や大人、もう何年も参加し見つける要領を心得ている子供達、参加者全員で30分以上を掛けてワラビ採りを行いました。

草の中を目を凝らしながらワラビを見つけてのですが、雨に濡れ新緑がいつそう濃くなっており、探すのが一苦労です。目が慣れてくるまではなかなか見つけられません。1本から30本まで採る人によって収穫は様々です。子供達は「あった。見つけた」と声を出し、皆さんはワラビ採りに夢中になっていました。バケツ1杯分の収穫となりました。

会場で集合写真を撮り、ワラビ採りは終了しました。

集合写真終了後、日本タンポポを発見しました。花の下の部分（外総苞片）が反り返っているものが西洋タンポポ、反り返っていないものが日本タンポポだそうです。日本タンポポは夏にはほとんど葉を落とし、秋頃にまた葉を出し、成長しますが、西洋タンポポは1年中成長を続けます。夏に成長しないのは葉を落とし、それまでに蓄えた栄養の維持に徹するためだそうです。賢い花です。

この頃には雨もあがりましたので活動を続けることにしました。

後で本日収穫分と4日前収穫分を合わせ小分けにしてお土産にしました。

休憩時に本日の参加者である岡本さんが採りたてのタケノコを7本持って来てくれました。

集合写真終了後、車で5分程度の岡本さんの知り合いの山に入り採って来たものです。

採りたてのタケノコは珍しくワラビと共にお土産にしました。

休憩後は入口付近にあるコゴミの移植とヒガンバナ（曼珠沙華）の苗を手分けして植えました。コゴミは旧シイタケを植えていたスギ林に植え替えました。

コゴミも山菜ですが、時期が終わっていたので、収穫は出来ませんでした。

現在群生している場所は日当たりが良く収穫時期が早いため、日陰の場所に移植した次第です。

ヒガンバナの苗は星野さんの実家にあったものを寄付して頂きました。ヒガンバナは別名曼珠沙華と言い秋の彼岸の頃に咲く鮮やかな赤い花です。森のアクセントになると思い3カ所に分けて植えてみました。秋の彼岸時期には鮮やかな赤い花が見られそうです。

夏場のスズメバチ被害防止の為、毎年4月にペットボトルで手造りのスズメバチトラップを作成しています。今年も4月2日に3カ所に設置しました。かなりの数のスズメバチが捕獲されており、今年もスズメバチの被害はなさそうです。

同時に標本木10本を選定し、番号を付けました。毎年3月に樹高の測定を行い、森の回復度合いを測る予定です。

本日はゴールデンウィークの初日でもあり、天気も芳しくなく、参加者は少なかったのですが参加者の皆さんが今日は楽しかったと言って頂いたので、開催した甲斐がありました。

(記録：星野正人)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、5月27日(土) (雨天の場合5月28日(日)) 9:00~12:00

グリーンウェイブ植樹祭、井戸掘り(終日)を予定しています。是非ご参加下さい。



集合写真



全員でワラビ採りに出発



ウラシマ草を発見



小雨の中ワラビ採り開始





ワラビを小分けにし、お土産にする。



休憩





岡本さんが採ってきたタケノコ



タケノコ採りを説明



ヒガンバナを植える



ヒガンバナを植える。



ヒガンバナを植える。



コゴミを移植する。



解散



日本タンポポ



スズメバチトラップ No-1



スズメバチトラップ No-2



標本木No6(クルミ)



標本木No-4(大島サクラ)



標本木No-5(被ばくアオギリ)